

令和3年産

大崎麦作情報 総括号

令和3年8月23日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

令和3年産小麦の特徴・次年度に向けて

- 最終的な生育量は平年並から平年を上回る結果となりました。
- 収量は千粒重が平年を下回ったものの、他の収量構成要素は平年を上回りました。
- 次年度の栽培に向けて、排水対策を行いましょう。

1 気象経過

(1) 越冬前（10月上旬～12月中旬）

気温は概ね平年並、日照時間は10月は少照、11月は多照で推移しました。降水量は10月第6半旬から12月第2半旬まで少雨で推移しました。

(2) 冬期間（12月下旬～2月下旬）

気温は12月中旬から1月中旬までは低温となりました。12月中旬から2月中旬まで積雪深が記録され、長期の根雪となりました。

(3) 越冬後（3月上旬～6月下旬まで）

気温は平年並から高温で推移しました。日照時間は5月において少照となりました。また3月中旬、4月下旬、5月下旬にまとまった降雨がありました。

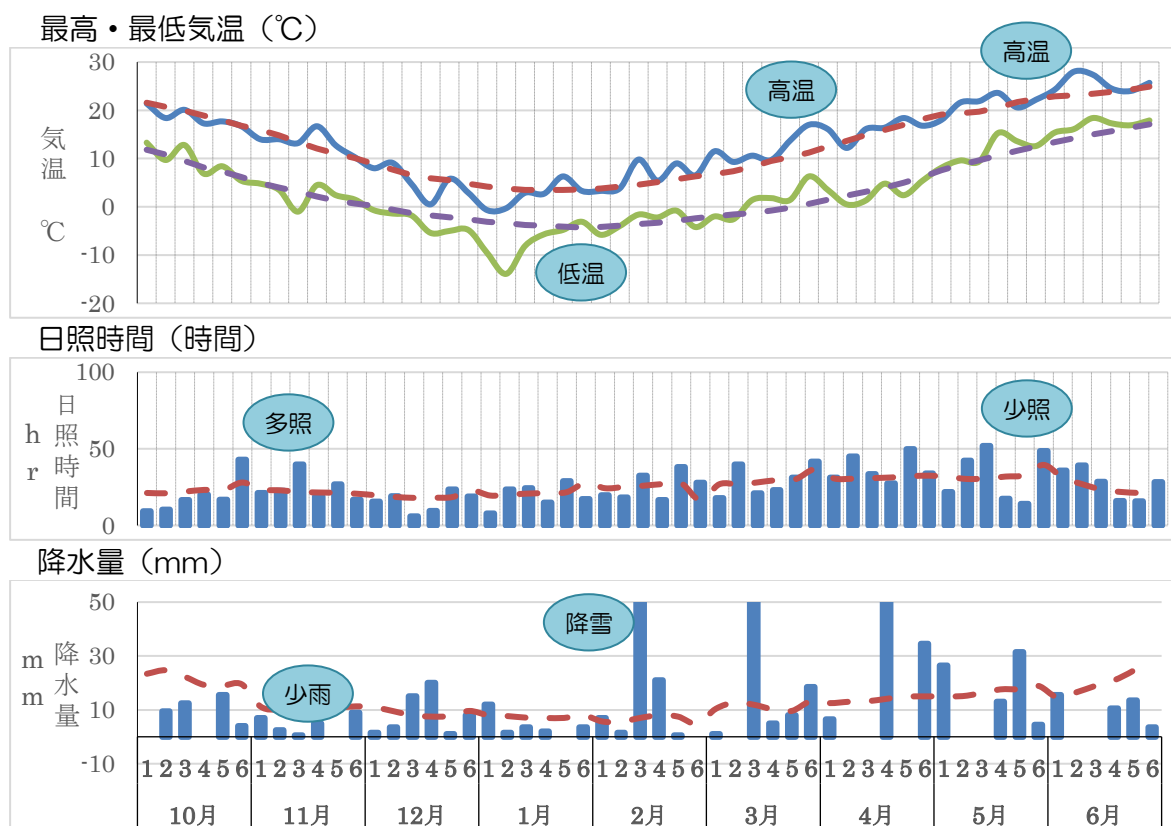


図1 気象経過（アメダス古川）

※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

2 生育概況

(1) 越冬前～冬期間（10月～2月）

播種時期は台風の影響で大幅に遅れた前年よりも16日早く、また平年よりも7日早まりました。生育量は茎数が平年を下回りましたが、草丈や幼穂長は平年並で推移しました。2月には根雪がなくなった影響で鳥害が確認されました。

(2) 越冬後（3月～6月）

草丈と茎数は3月20日時点では平年を下回っていましたが、4月10日時点では高温多照の影響により平年を上回りました。幼穂長は平年並で推移しました。

生育ステージについては、出穂期・成熟期ともに平年より2日早まりました。また成熟期調査時点では、稈長・穂長・穂数すべてにおいて平年を上回る結果となりました。

収量調査の結果については、穂数・容積重・子実重は平年を上回りましたが、千粒重は平年を下回りました。

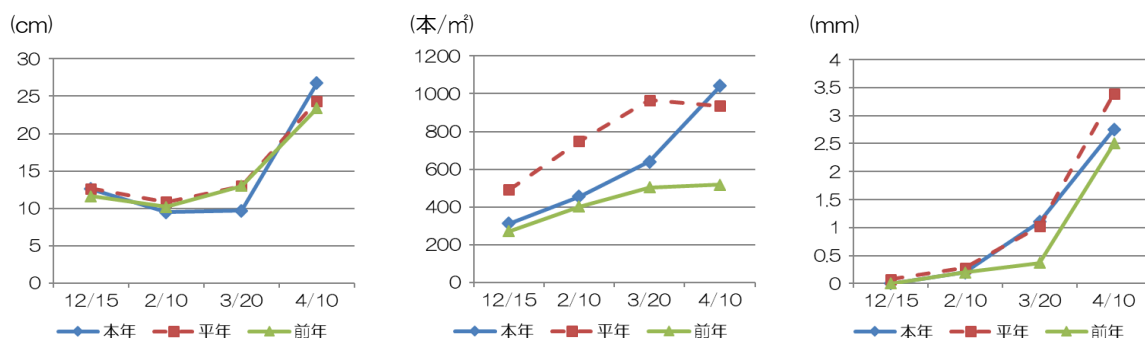


図2 草丈（左）茎数（中）幼穂長（右）の推移

表1 生育ステージ

地区名 品種名	区分	播種日	出穂期	成熟期
古川 シラネコムギ	本年	10/16	5/8	6/22
	前年差	16日早い	3日早い	3日早い
	平年差	7日早い	2日早い	2日早い

※ 平年差は、過去5か年（平成28年～令和2年産）の平均値との比較。

表2 成熟期・収量調査結果

地区名	区分	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g/千粒)	容積重 (g/L)	子実重 (g/m ²)
古川 シラネコムギ	本年	79.8	8.3	704	33.4	815	682
	前年比	106%	91%	108%	92%	108%	132%
	平年比	102%	106%	112%	90%	109%	129%

※ 平年比は、過去5か年（平成28年～令和2年産）の平均値との比較。

